

4 高齢者人口

(1) 高齢者人口の動向

65歳以上の高齢者人口は今回30万人を超え、その増加率が総人口のそれを大きく上回るため、総人口に占める割合が昭和60年に初めて10.0%台を示し、今回は11.9%と1.7ポイント上昇しており、人口の高齢化がますます進んでいることがうかがえる。

最近10年間（昭和55年～平成2年）の65歳以上人口の推移を県内5地域別にみると、増加率が鹿行地域（6.5ポイント）、県西地域（6.0ポイント）、県央地域（5.5ポイント）、県南地域（2.5ポイント）、県北地域（1.4ポイント）の順で上昇しており、また、昭和55年～60年には20.0%を上回る増加率を示したのは県南地域のみであったが、昭和60年～平成2年には全ての地域で増加率が20.0%を上回っている。この結果、全ての地域で総人口に占める割合が上昇しており、今回は5地域とも10.0%を上回ったが、10年前（昭和55年）と比べた上昇幅は、最も大きいのが県北地域（3.6ポイント）で、次いで、県央地域及び鹿行地域が2.9ポイントで並んでおり、以下、県西地域（2.8ポイント）、県南地域（1.8ポイント）の順となっており、高齢化の速度には地域差があることがわかる（表-23）。

表-23 65歳以上人口の推移(昭和55年～平成2年) - 県・地域 -

県・地域	65歳以上人口			増加率(%)		総人口に占める割合(%)		
	昭和55年	昭和60年	平成2年	昭和55年～昭和60年	昭和60年～平成2年	昭和55年	昭和60年	平成2年
茨城県	236,485	278,503	338,799	17.8	21.7	9.2	10.2	11.9
県北地域	58,738	70,130	84,710	19.4	20.8	9.3	10.8	12.9
県央地域	43,127	49,639	59,861	15.1	20.6	9.5	10.5	12.4
鹿行地域	20,819	24,458	30,329	17.5	24.0	8.7	9.7	11.6
県南地域	63,593	76,284	93,459	20.0	22.5	8.9	9.5	10.7
県西地域	50,208	57,992	70,440	15.5	21.5	9.7	10.6	12.5

(2) 高齢者世帯

65歳以上の高齢親族のいる一般世帯数は、最近10年間(昭和55年～平成2年)に61,787世帯(増加率34.2%)増加し、一般世帯総数に占める割合は26.2%から29.2%へ3.0ポイント上昇している。この割合を県内5地域別にみると、最も高い県西地域で33.6%と、一般世帯数の3分の1以上に65歳以上の高齢親族がいることがわかり、以下、鹿行地域(30.1%)、県北地域(29.8%)、県央地域(29.2%)、県南地域(26.0%)の順となっている。また、市町村別にみると、最も高いのは緒川村(60.4%)で、次いで、七会村(58.7%)、美和村(58.6%)、水府村(58.4%)、金砂郷村(56.7%)の順となっており、上位14町村で50.0%を超え、県北地域に高い市町村が多いが、これらの市町村では、一般世帯の半数以上に65歳以上の高齢親族がいることになる。一方、最も低いのは鹿島町(16.1%)で、以下、神栖町(17.7%)、勝田市(17.7%)、取手市(18.6%)と

家族類型別に昭和55年からの推移をみると、65歳以上の高齢親族のいる核家族世帯数は、昭和55年～60年に31.5%、昭和60年～平成2年に37.7%増加し、この結果、一般世帯数に占める割合は20.5%から27.6%へとこの10年間で7.1ポイント上昇しており、核家族世帯総数の一般世帯総数に占める割合が低下しているのとは対照的である。中でも、夫婦のみの世帯数の割合が10.3%から14.4%へと4.1ポイント上昇しており、両方またはいずれかが65歳以上の高齢者である夫婦のみの世帯数が他に比べて著しく増加していることがわかる。また、単独世帯数の割合も毎回上昇しており、平成2年には65歳以上の高齢親族のいる世帯数の約1割が1人暮らしの高齢者ということになる（表-19、表-25）。

表-25 家族類型別65歳以上親族のいる一般世帯数の推移(昭和55年～平成2年) -茨城県-

世帯の家族類型	一般世帯数			増加率(%)		一般世帯数に占める割合(%)		
	昭和55年	昭和60年	平成2年	昭和55年～昭和60年	昭和60年～平成2年	昭和55年	昭和60年	平成2年
総数	180,812	207,781	242,599	14.9	16.8	100.0	100.0	100.0
親族世帯	168,972	191,715	220,276	13.5	14.9	93.5	92.3	90.8
核家族世帯	37,021	48,681	67,029	31.5	37.7	20.5	23.4	27.6
夫婦のみの世帯	18,669	24,990	34,975	33.9	40.0	10.3	12.0	14.4
夫婦と子供	10,893	13,236	17,366	21.5	31.2	6.0	6.4	7.2
片親と子供	7,459	10,455	14,688	40.2	40.5	4.1	5.0	6.1
その他の親族世帯	131,951	143,034	153,247	8.4	7.1	73.0	68.8	63.2
非親族世帯	140	121	161	△13.6	33.1	0.1	0.1	0.1
単独世帯	11,700	15,945	22,162	36.3	39.0	6.5	7.7	9.1

65歳以上の高齢単身世帯数を県内5地域別にみると、多い順に県北地域、県南地域、県央地域となっているが、一般世帯数に占める割合をみると、県北地域(3.5%)及び県央地域(3.4%)が3.0%以上と他の3地域に比べて高くなっている。これを市町村別にみると、一般世帯数に占める割合が高い上位5町村は、いずれも県平均の2倍以上の数値を示しており、一方、下位5市町村は、いずれも県平均の2分の1以下の数値を示している（表-26、表-27）。

表-26 65歳以上高齢単身及び夫婦世帯数 -県・地域-

県・地域	一般世帯数	65歳以上高齢	一般世帯数に占	65歳以上高齢	一般世帯数に占
		単身世帯数	める割合(%)	夫婦世帯数	める割合(%)
茨城県	829,549	22,162	2.7	22,315	2.7
県北地域	202,508	7,096	3.5	7,844	3.9
県央地域	147,973	4,963	3.4	4,956	3.3
鹿行地域	71,687	1,600	2.2	1,256	1.8
県南地域	258,079	5,303	2.1	5,395	2.1
県西地域	149,302	3,200	2.1	2,864	1.9

注) 65歳以上高齢夫婦世帯とは、夫婦とも65歳以上の世帯を指す。

表-27 65歳以上高齢単身世帯数割合の高い(低い)市町村

順位	上位5市町村				下位5市町村			
	市町村名	一般世帯数	65歳以上 高齢単身 世帯数	一般世帯数 に占める 割合(%)	市町村名	一般世帯数	65歳以上 高齢単身 世帯数	一般世帯数 に占める 割合(%)
1	緒川村	1,421	103	7.2	総和町	12,899	133	1.0
2	山方町	2,543	180	7.1	荃崎町	6,755	80	1.2
3	金砂郷村	2,846	178	6.3	千代田村	7,312	88	1.2
4	御前山村	1,364	85	6.2	つくば市	47,256	579	1.2
5	桂村	1,834	111	6.1	利根町	5,293	66	1.2

65歳以上の高齢夫婦世帯数を県内5地域別にみると、県北地域、県南地域、県央地域の順に多くなっているが、一般世帯数に占める割合では県北地域(3.9%)及び県央地域(3.3%)が3.0%以上と他の3地域に比べて高くなっており、これは高齢単身世帯の場合と同様である。また、県北地域及び県南地域では高齢夫婦世帯数が高齢単身世帯数より多くなっている。市町村別では、一般世帯数に占める割合が高い上位5市町村及び下位5市町村は、高齢単身世帯の場合とよく似た順位となっている(表-26, 表-27, 表-28)。

表-28 65歳以上高齢夫婦世帯数割合の高い(低い)市町村

順位	上位5市町村				下位5市町村			
	市町村名	一般世帯数	65歳以上 高齢夫婦 世帯数	一般世帯数 に占める 割合(%)	市町村名	一般世帯数	65歳以上 高齢夫婦 世帯数	一般世帯数 に占める 割合(%)
1	水府村	1,956	155	7.9	総和町	12,899	118	0.9
2	緒川町	1,421	108	7.6	鹿島町	14,127	149	1.1
3	御前山村	1,364	96	7.0	神栖町	12,638	136	1.1
4	山方町	2,543	171	6.7	つくば市	47,256	552	1.2
5	里美村	1,284	85	6.6	五霞村	2,378	29	1.2

高齢単身世帯の居住状況を見ると、住宅に住む高齢単身世帯の約4分の3が持ち家に住んでおり、一般世帯の平均(72.4%)を上回っているが、借家に住んでいる世帯も約2割おり、これは、一般世帯の平均(21.6%)と同じである。一方、高齢夫婦世帯の場合は、持ち家に住んでいる世帯数の割合が約9割と非常に高くなっている(表-21, 表-29)。

表-29 住宅の所有の関係別住宅に住む高齢単身及び高齢夫婦世帯数 -茨城県-

住宅の所有の関係	65歳以上高齢単身世帯		65歳以上高齢夫婦世帯	
	世帯数	構成比(%)	世帯数	構成比(%)
総数	22,022	100.0	22,261	100.0
持ち家	16,883	76.7	20,174	90.6
借家総数	4,748	21.6	1,851	8.3
公営・公団・公社の借家	983	4.5	549	2.5
民営の借家	3,765	17.1	1,302	5.8
給与住宅	146	0.7	108	0.5
間借り	245	1.1	128	0.6

注) 65歳以上高齢夫婦世帯とは、夫婦とも65歳以上の世帯を指す。

5 母子及び父子世帯

一般世帯数のうち母子世帯数の占める割合は1.1%、父子世帯数の占める割合は0.3%となっている。これを県内5地域別にみると、母子世帯数では県央地域(1.5%)がやや高くなっており、父子世帯数では5地域ともほぼ同じ数値を示している(表-30)。

表-30 母子世帯数及び父子世帯数 -県・地域-

県・地域	一般世帯数	母子世帯		父子世帯	
		世帯数	一般世帯数に占める割合(%)	世帯数	一般世帯数に占める割合(%)
茨城県	829,549	9,533	1.1	2,251	0.3
県北地域	202,508	2,097	1.0	541	0.3
県央地域	147,973	2,171	1.5	385	0.3
鹿行地域	71,687	880	1.2	225	0.3
県南地域	258,079	2,642	1.0	643	0.2
県西地域	149,302	1,743	1.2	457	0.3

母子世帯数を母の年齢別にみると、最も多いのが35~44歳(5,445世帯)であり、母子世帯総数(9,533世帯)の57.1%を占めている。さらにこれを母の配偶関係別にみると、死別(2,539世帯)のうち35~44歳が1,345世帯(53.0%)、離別(6,715世帯)でも、やはり35~44歳が4,001世帯(59.6%)と多くなっている(第26表、表-31)。

表-31 母の年齢（5区分）、配偶関係（2区分）別母子世帯数 -茨城県-

配偶関係	総数	母が 15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55歳以上
世帯数						
総数	9,533	179	1,591	5,445	2,113	205
死別	2,539	11	165	1,345	883	135
離別	6,715	135	1,332	4,001	1,180	67
構成比(%)						
総数	100.0	1.9	16.7	57.1	22.2	2.2
死別	100.0	0.4	6.5	53.0	34.8	5.3
離別	100.0	2.0	19.8	59.6	17.6	1.0

注) 世帯数総数には、配偶関係「未婚」を含む。

父子世帯数を父の年齢別にみると、45～54歳（999世帯）及び35～44歳（993世帯）がほぼ同数となっており、両方合わせると父子世帯総数(2,251世帯)の88.5%を占めている。父の配偶関係別にみると、死別（775世帯）のうち45～54歳が401世帯（51.7%）、離別（1,463世帯）では35～44歳が715世帯（48.9%）と多くなっている（第27表、表-32）。

表-32 父の年齢（5区分）、配偶関係（2区分）別父子世帯数 -茨城県-

配偶関係	総数	父が 15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55歳以上
世帯数						
総数	2,251	4	117	993	999	138
死別	775	—	18	274	401	82
離別	1,463	3	98	715	592	55
構成比(%)						
総数	100.0	0.2	5.2	44.1	44.4	6.1
死別	100.0	—	2.3	35.4	51.7	10.6
離別	100.0	0.2	6.7	48.9	40.5	3.8

注) 世帯数総数には、配偶関係「未婚」を含む。